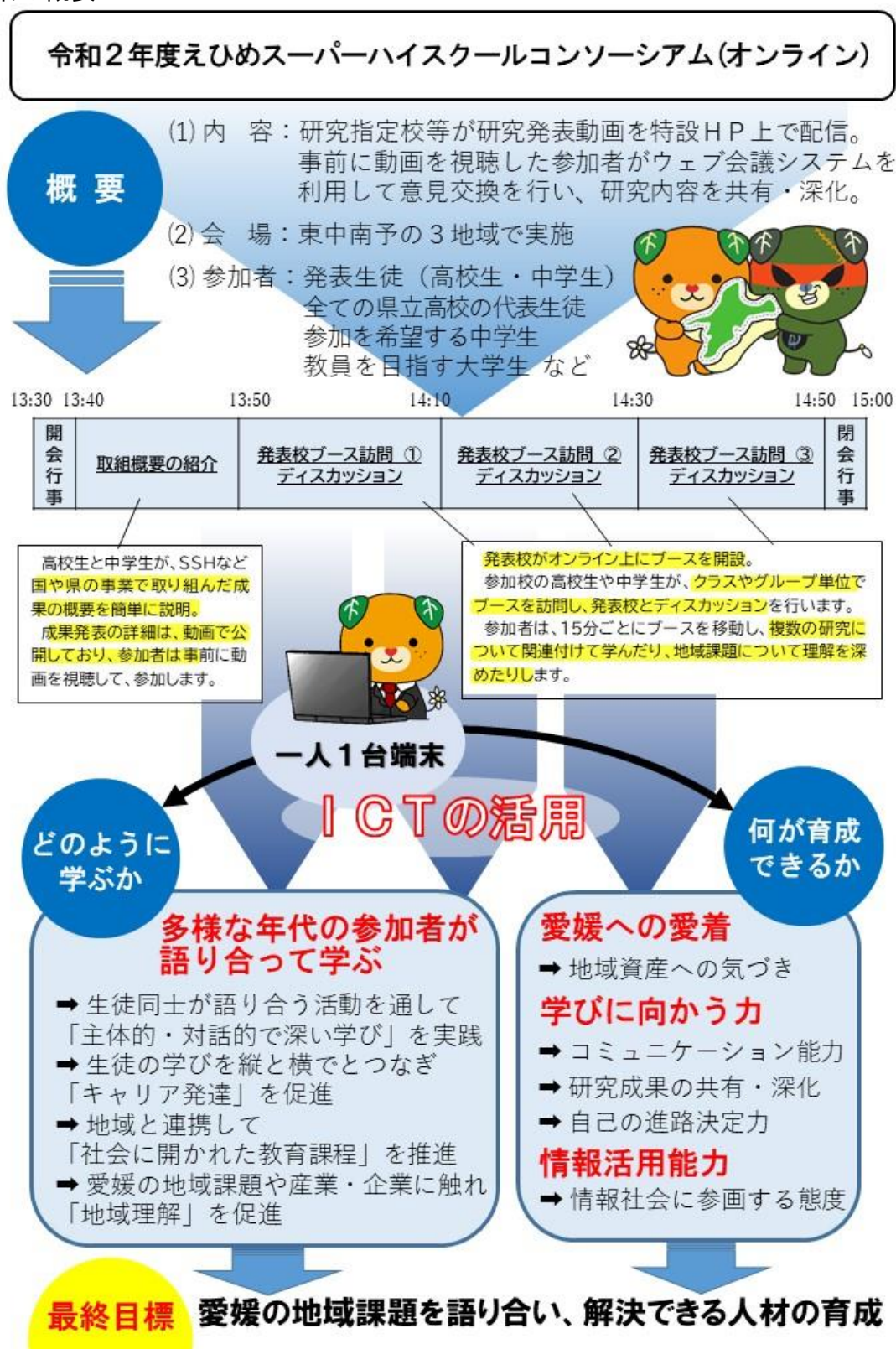


# 令和2年度「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム(オンライン)」 実施報告

本年度、オンラインで開催した「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム」について報告します。

発表校が開設したオンラインブースでは、愛媛の高校生と中学生が、先進的な教育活動の成果や地域活性化の取組について、熱心に協議し、学びを深めました。

## 1 事業の概要



## 2 目 的

「スーパーサイエンスハイスクール」「高等学校地域協働推進事業」等の指定校による成果発表や、県立高校等における先進的な教育活動の報告、意見交換等を通して、研究成果の普及と深化を図るとともに、主体的に学び、地域課題の解決に取り組もうとする気運を醸成します。

また、本コンソーシアムを、中学生や大学生、教育関係者等に公開し、各校の特色ある取組を紹介するとともに、本県県立高校等の魅力を伝えます。

## 3 令和2年度 参加者数

| 地域 | 日時       | 参加者                                          |
|----|----------|----------------------------------------------|
| 東予 | 2月 3日（水） | <u>628人</u><br>高等学校等(534人) 中学校(91人) 大学(3人)   |
| 中予 | 1月26日（火） | <u>1005人</u><br>高等学校等(815人) 中学校(188人) 大学(2人) |
| 南予 | 1月29日（金） | <u>483人</u><br>高等学校等(378人) 中学校(100人) 大学(5人)  |

## 4 内 容

| 開<br>会<br>行<br>事 | 取組概要の紹介                                                                                                 | 発表校ブース訪問①<br>ディスカッション                                                                                                               | 発表校ブース訪問②<br>ディスカッション | 発表校ブース訪問③<br>ディスカッション | 閉<br>会<br>行<br>事 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|
|                  | ○高校生と中学生が、SSH やえひめジョブチャレンジ U-15 など国や県の事業で取り組んだ成果の概要を簡単に説明。<br>○成果発表の詳細は、特設HPで動画を公開、参加者は事前に動画を視聴して、参加した。 | ○各発表校がオンライン上にブースを開設。高校生や中学生、大学生の参加者は、クラスやグループ単位でブースを訪問し、ディスカッションを実施した。<br>○参加者は、20分ごとにブースを移動し、複数の研究について関連付けて学んだり、地域課題について理解を深めたりした。 |                       |                       |                  |

### (1) 特設ホームページ

成果発表動画が掲載されています。愛媛の中高生が地域活性化に取り組む様子をぜひご覧ください。

<https://sshc.e-catv.ne.jp/wordpress/>



## (2) 特設ホームページの成果発表動画

### ● 特設HP 成果発表動画 例1 「高等学校地域協働推進事業」 小松高校

「生活文化の伝承と多世代交流 ―共生のまちづくりに貢献する人材の育成―」

【東予動画1】小松高校「高等学校地域協働推進事業」



#### 【動画視聴者の感想】

- （高校生）地域の魅力を3つに絞り、その全てにおいて商品の開発・販売をしている行動力がすごい。県内に住んでいても知らなかった、愛媛の特産について知ることができた。
- （大学生）高校生が元気で、エネルギーにあふれている。彼らの、主体的に地域活性化やまちづくりに取り組もうとする勢いが強く感じられた。それはすなわち、彼らが地域・ふるさとに愛着を持ち、「まちを元気にしたい。」という思いを持っているからこそだと思う。

### ● 特設HP 成果発表動画 例2 「高校生まちおこしプロジェクト」 松山北高校

「『ごごしまカレンダー』～SDGs11「住み続けられるまちづくり」を探って～」



#### 【動画視聴者の感想】

- （中学生）興居島の魅力をカレンダーにするというアイデアがすごい。一回、行って終わりではなく、カレンダーを見た人は、違う季節にも行ってみようと感じると思う。
- （高校生）実際に足を運んで、地元の人と交流しながら活動している様子に感動した。人の温かさが、愛媛県のいいところだと思う。
- （大学生）愛媛県の中高生が素晴らしい取組を行っていることを知り、将来教師になって、このような活動を生徒たちと一緒に行いたいという気持ちが強くなった。



● 特設HP 成果発表動画 例3 「ジョブチャレンジ U-15 愛媛の魅力新発見プロジェクト」  
大洲南中学校

「こんなにスゴイ！愛媛の企業 ～愛媛の魅力新発見プロジェクトに参加して～」

【南予動画11】大洲南中学校  
「ジョブチャレンジU-15愛媛の魅力新発見プロジェクト」

こんなにスゴイ！愛媛の企業  
-愛媛の魅力新発見プロジェクトに参加して-

大洲市立大洲南中学校の2年生です。私たちは、今年度、職場体験活動をおこなうことができませんでした。しかし、「ジョブチャレンジU-15愛媛の魅力新発見プロジェクト」に参加することができ、愛媛のものづくり企業を訪問しました。愛媛にはすごい技術を持つ企業があり、愛媛の誇るスゴ技は、そこで働く人たちの「思い」や「心がけ」「願い」によって生まれていることに気づきました。あらためて愛媛の企業のすばらしさを知りました。



【動画視聴者の感想】

- （中学生）砥部焼や愛媛の企業について知ることができてよかった。愛媛にはスゴイ技術がたくさんあることが分かった。将来、愛媛で働きたいと思った。
- （高校生）環境問題に取り組んでいる愛媛の企業について、この動画で知ることができた。中学生のうちに、愛媛の企業を訪問し、研究したりすることは、将来の進路選択にも役立つと思う。
- （大学生）企業の名前は知っていたが、その実態をジョブチャレの発表で知ることができた。愛媛には、日本や世界に誇れる企業がたくさんあり、産業構造のバランスが取れていることが魅力だと感じた。

(3) ウェブ会議システムを使ったディスカッションの様子



【ディスカッションの感想】

- （中学生）最初は、オンラインで話すことが心配だったけど、実際始まってみれば、他校の人とのコミュニケーションはとても楽しかった。高校生や大学生は、順序だてて分かりやすく話していてすごいなと思った。自分も高校でこんな活動をしてみたい。
- （高校生）自分たちとは違う観点から質問をいただき、改めて自分たちの取組を見直し、改善点や今後の展望について考えることができた。コロナ禍により自分たちの活動の成果をどこにも発表できずにいたので、このような機会をいただいたことに感謝している。
- （大学生）ディスカッションでは中高生の活動に対して自分の考えを提案することができた。活動をしている本人たちには見えないことも、私たちのような第三者の立場の者なら気づくことができる場合もあり、活動内容を他人と共有し、分析・吟味し合うことの有効性を改めて感じた。

---

## 5 成果

### (1) 課題解決能力・愛媛への愛着心の育成

中学生と高校生が、学校種を超えて意見交換を行い、地域課題を共有するとともに、愛媛への愛着心を育む場となりました。

### (2) I C T教育の推進(1人1台端末に向けた機運の醸成)

動画作成やウェブ会議システムを活用し、教育におけるI C Tの有用性について、教員と生徒が体験する機会となりました。

---